

北大・医大 進学塾

2025-2026

3学期

入塾案内

高2・3生

高1生〈中高一貫〉

高卒・再受験生

受験のプロ集団。ここに集結。

道内最高のプロ・スタッフが
「少人数授業」+「個人指導」
による合格指導を展開しています

合格は学習環境で決まる

医学部や難関大合格のためには、越えねばならぬ壁が2つあります。1つは偏差値55手前の「基礎の壁」、2つ目は医学科ボーダーに近い偏差値65手前の「応用の壁」です。これら2つの壁付近で伸び悩む受験生が実に多いのです。これらの壁を短時間で超えるには、経験豊富な講師による「少人数授業+個人指導」が最も有効です。合格のための無理のない緻密な「学習計画」と、志望大の出題傾向に合致した「テキスト」も大切です。本塾は、受験を熟知したプロのスタッフが受験生に最高の環境を提供しています。

合格への最短指導を実施

本塾では、短期間で学力を最大限に引き上げ、合格を確実にする最良の学習方法を実施しております。本塾の最大の特徴は**8名限定の少人数クラス**で、年間を通してきめ細かい指導を行っている点にあります。長い受験指導で得た経験から、以下に具体的に述べられている独自の合格指導を展開します。受験に精通した講師陣による効果的な学習指導やアドバイス、さらに精選された良問で構成された**オリジナルテキスト**の使用に加えて、北大卒の現役医師による受験指導と豊富な経験に裏打ちされた顧問の進路・進学アドバイスなど、最短で「合格」するための最良の学習環境が本塾には整えられています。

■受験に精通した学習指導講師

医学部などの難関大の合格には高い学力が必要となります。それを達成するには受験に精通した講師の指導が不可欠です。複雑にからまった知識をきちんと整理して理解させ、それを入試で引き出させる指導力が必要なのです。学力を上げてくれる本物の講師は、受験生の学力の弱点を分析できる能力をもち、そして受験生一人ひとりに情熱をもって指導する、いわゆる教育者でもあります。本塾ではそんなプロの講師が全力で合格指導をしています。

■北大卒の現役医師による受験指導と経験豊富な顧問の進路・進学アドバイス

医学部などの難関大は、学力が高ければ合格するとは限りません。模試A判定で不合格となり、E判定で合格することも珍しくありません。また、札医大がC判定なら全国の多くの大学がC判定となりますが、合格率は現実には同じではありません。各教科の学力や特性によってCがAやEになるのです。本塾では北大卒の現役医師による受験分析と経験豊富な顧問が成績を紐解いて、具体的な進学指導をおこなっております。

■各講座8名限定の「少人数授業」＋「個人指導」体制

本塾の各講座は8名限定となっています。少人数にしているのは、「少人数授業」＋「個人指導」が短期間で最も学力が上がるためです。少人数授業は緊張感があり集中力が養成され、また、良い意味での競争意識が芽生えます。本塾では個人質問を大歓迎しています。講師陣との触れ合いで、短期間で停滞している学力を飛躍的に伸ばすことができます。

■目標大学に合致したテキストを使用

学力を大きく上げるには使用するテキストがとても大切です。市販の問題集や一般的な予備校・塾でみられる全国一律の共通テキストでは、受験生にとって効果が上がらない場合も多いです。すべての勉強はつながっていますから、共通テストも視野に入れて、常に基礎を確認しながら二次試験にまで通用する高レベルの学力に引き上げるテキストが不可欠です。本塾では、経験豊富な講師陣が問題を精選したオリジナルテキストを使用しています。毎年入試本番でも類似問題が数多く出題されています。

■実戦演習指導を実施

本塾で実施する講座は、授業中または終了後に問題演習を行うことがあります。授業を理解できたかを確かめ応用力を養成するには、この授業＋αの演習が最上といえます。また答案の書き方も学ぶことができます。そしてこの実戦演習は、本番への試験慣れや解法のスピード感覚を鍛えるという訓練でもあるのです。これは本塾独自の指導方法です。

■AO・推薦入試の受験指導を実施

最近ほとんどの医学科でAO・推薦入試を実施しています。本塾では予備校在職時から長年推薦指導をしてきた顧問が中心となって、塾本科生を対象にAO・推薦入試対策指導を実施しています。

■進学講演・個別進学相談を実施

本塾では塾長および顧問による進学指導や個人指導、資料配付等を実施しています。内容は、受験の心構え、合格学習計画、効果的な学習法、入試の変更点、共通テスト・2次・私大対策、現役医師目線での医学部受験戦略、現役医師から受験生へ伝えたいことなどです。また、進学相談はいつでも受けられます。

■自習スペースの利用

開塾時間に利用することができます。授業のない日は原則として休塾のため自習室は利用できません。詳細は塾スタッフにお気軽にお問い合わせ下さい。

3学期実施要領【期間・実施科目等】

本塾のすべての講座は、高校の学年や年齢などによる受講制限はありません。志望大の受験科目や、現在の学力によって講座を選択してください。各講座は対面講座8名限定です。本講座はビデオ録画による後追い学習はできませんので、ご承知おきください。

■ 3学期実施期間

1月22日（木） ～ 3月16日（月）

■ 3学期実施講座

医学部START講座「数学」（全8回）

医学部START講座「英語」（全8回）

■ 講座開講日程

	期間	日時
医学部START講座 「数学」	1/22 ～ 3/12	毎週木曜日 18:30～20:40
医学部START講座 「英語」	1/26 ～ 3/16	毎週月曜日 18:30～20:40

■ 注意事項その他

数学・英語ともに来春の医学部・難関大合格を目指すハイレベルな授業内容になります。無料体験も可能ですので体験を通して現在の理解定着度を確認の上、お申し込みください。

1. 上記講座は、高校の学年や年齢などによる受講制限はありません。
以下の講座内容の対象もあくまで目安です。
志望大学の受験科目や現在の学力を客観的に自己分析して、講座を選択してください。
2. いずれの講座も少人数指導のため各8名限定となっています。
定員になり次第締め切りとなりますので、事前にご了承ください。
また、受講生が2名に満たない場合は、開講を見送らせていただくことがございます。
3. この他に空いている曜日や時間を使って特別講座を実施することもあります。
詳細は適宜お知らせします。
4. 本講座はビデオ録画による後追い学習はできませんので、ご承知おきください。

講座内容＜講座担当講師より＞

■ 医学部START講座「数学」

担当 岸田 諒 先生

◆授業スタイル

この講座では頻出かつ重要な入試問題を中心に扱い、その解説に時間を割きます。新高3生、浪人生問わず、もし予習内容が未履修の場合でも、教科書や参考書に一通り目を通し、出来る限りの解答を用意して来てください。**予習をしっかり行うことが理解定着にはとても重要です。**毎回の授業ごとにテーマを設けていますが、実際の入試問題では、その大問1題を明確にどのテーマに振り分けられるのか判断するのは難しいところです。**本講義では試験本番で受験生誰もが解き切りたい問題を選んでいきます**ので内容が濃いと思います。是非、予習と復習の繰り返して理解の精度を上げてください。スピードは後から補えます。

◆予習の意味とは？

まずは毎回の授業に備えて問題をなるべく100%解き切るつもりで臨んでください。この場合、時間をいくら費やしても構いません。結局なぜ授業に参加するのでしょうか？それは、受講生の方が事前に問題を解いた道筋が授業での解説と一致しているか、その答え合わせのためです。家で一人参考書を見ながらそれをノートに写すのとは事情が違います。**予習には本気で取り組み、自分は何がわかっていて何がわからず予習問題が解けなかったのか区別できた状態で教室に到着すれば最高**です。これが予習の目的です。

◆この塾で学ぶ意味とは？

では映像授業でもいいのでしょうか？いえ、例えば、紅白歌合戦を録画で見ると人は少ないはずですが、大晦日に見るからこそ楽しいのです。結局リアルタイムで体感するからこそ魅力的だと信じています。臨場感が違います。高校や予備校の授業が受講生の理解を促すためのもの、あるいは入試科目の得点向上を目的とするならば、8名限定の少人数の本塾では、**張りつめた臨場感とリアルな授業体感で得点向上を目的とします。少人数だからこそその臨機応変の効いた授業には、大人数の予備校や高校とは全く違った「わかる実感」**が得られるのです。是非皆さんも体感してください。

■ 医学部START講座「英語」

担当 品野 健一先生

◆「英文を読める」ということはどういうことでしょうか。最終的に、構文、単語などを個々には意識しないままに、文頭から語群ごとにどんどん読み下していけるということです。「意識しない」からといって決して知らなくてもよいということではありません。細かな事項を徹底的な練習で身につけているから「意識しない」で済むのです。残念ながら、今の英語教育ではそのような基礎事項を徹底的に習得する方向には進んでいないように思えます。「構文の暗記など無駄」「文法は英語理解の邪魔」「単語は類推すればよい」「熟語はテキストに出てくる範囲で十分」というようなことを信じていると、いつまでたっても正しい英語力は身につけません。一見遠回りに思えるかもしれませんが、**安易な即効性を求めたりせず必要なことを一つずつ着々と習得していくことが、英語を攻略する近道**といえます。

◆北大・医大進学塾の一年間では、構文、文法の習得を中心に据えて、順に長文の理解へと進んでいきます。その観点から4月からの本格的なスタートの前段階として3学期の8回の授業では、オリエンテーションでまず英語の文法的理解の重要性を説き、授業では英文を読むためにはどういうことを攻略していかなければならないかということの一端を、まとまった英文を読みながら考えていきます。

◆予習の仕方としては、ポイントの説明を見る前にまず問題の英文全体に目を通して、どの程度まで読めるかを確かめて下さい。今の自分の力がどの位なのかが計れます。問題文は過去のセンター試験の過去問を含めて大学入学共通テストのレベルを超えないように配慮しました。見終わった後でポイントを読み、練習問題を解いてみます。それがその講の英文を理解するカギとなります。併せて、辞書の活用法についても詳しく述べます。辞書を十分に利用しながら、全文の意味を考え、設問に答えてください。考えてもわからない箇所は出てくるでしょうが、それは授業の説明で解消していけばよいのです。ただし**必ず予習はやって、分かる点、分からない点をはっきりさせておくことが授業に出るための絶対条件**です。

◆医学部英語攻略の土台となるこの3学期の授業を、これからの英語学習のための実りある出発点にしてください。

講座担当講師・塾長紹介

■ 岸田 諒 先生（数学）

北海道大学理学部生物学科卒業後、同大学大学院生命科学院博士課程において最先端の生命科学分野を学ぶ。生命科学の面白さに学部学生の頃から強く惹かれ、大手学習塾などで数学・化学を中心とした理数科目で教鞭を執る。生物分野にも非常に長けており、生命科学領域の知識は比類ない。最先端生命科学領域で日々実験・論文活動も行っている現役の科学者であり、そのため最新の受験問題に出題されやすいトピックに非常に敏感である。これを受験生が理解しやすいレベルで説明できるため、これまで指導してきた受験生は口々に「数学・化学が好きになった」「大学で生命科学をさらに深めたくなった」と言う。

温厚で落ち着いた性格であるため、質問の対応も丁寧親切であり、受験生からの信頼も厚い。どんなに基本的な質問でも、ゼロから親身になって教えてくれる。そのため理数科目に苦手意識を持つ学生の救世主となっている。「授業では受験会場で初めて見た感覚で。」「予習は正確に。精度が先。スピードは後。」を方針に、基本的な問題を大切にし、その一問を深く理解して本番で応用できる指導を心掛けている。これから医学部に入り医師を志す受験生の更なる生命科学への探究心を満たしてくれる講師である。

■ 品野 健一 先生（英語）

東京教育大学(現筑波大)英語学科卒業後、多くの進学高校で教鞭をとる。札幌南高校在職時には、生徒から「品塾」と呼ばれ輝かしい実績を残し、その指導には絶大な評価と人気を得ていた。その後、大手予備校に移り、主として東大や医学部をはじめとする難関大学の指導にあたってきた。長い経験に培われた深く幅広い知識と、明快な理論に裏付けされた授業は素晴らしく、受験生から絶大な信頼と人気を得ている。人柄は温厚かつ個人指導もとても熱心で、受験生からの信頼は極めて厚い。授業は生徒の理解度をみながら重要事項を何度も解説していくため、授業の密度が非常に濃い。英文読解や英作文指導の根底には常に正しい英文法があり、真の英語力を養成することを意識している。受験英語の指導においては、他の追随を許さない道内最高の存在である。

■ 矢ヶ部 俊彰（塾長）

北海道大学医学部卒の現役医師、北大・医大進学塾の前身である医学進学塾生であった。地方高校から2年間医学進学塾の学び舎で本気で勉強し、第一志望に合格した。自身の経験から、受験生の学力面でのサポートのみならず精神的サポートも含めたトータルケアを実践する。客観的な分析と、実際に複数の医学部に合格した経験・ノウハウを学生に積極的に還元していく。誰に対しても壁を作らない気さくな性格であり、思いやりのある的確なアドバイスを提供してくれる。元医学進学塾生であった経験、受験に失敗した経験、苦学生であった経験、そして現役の医師である経験を存分に活かして学生・保護者の今と未来に実直に向き合う。

個人指導の重視

本塾はプロ講師と塾生が質問等を通して、
親密に触れあう指導を実践しています。
それが短時間で学力を伸ばす最良の方法です。



合格三力

合格には学力・気力・体力が不可欠である
いずれが欠けても受験には勝てない

生活偏差値

受験のプロとして生活偏差値を高く保て
一日一日を大切に勉強に集中没頭せよ

注意事項・塾内紹介

■ 注意事項

1. 学費の納入は一括納入をお願いしております。
2. 途中退塾の場合は、学費の返金はできませんので事前にご了承ください。
3. 後追いビデオ学習はできませんので事前にご了承ください。
4. 各講座は8名限定のため定員になり次第締切りとなります。
5. 塾内で大声を出したり騒いではいけません。また、飲酒・喫煙は退塾とします。
6. その他の禁止事項は教職員・事務スタッフの指示に従ってください。
改善が見られない場合は退塾となりますので事前にご了承ください。

■ 塾内紹介



本棚と個人指導コーナー

赤本や教材がズラリ！塾生は自由に閲覧することができます。また個人指導コーナーでは授業の前後や合間でわからないことをすぐ講師に聞くことができます！



エントランスと下駄箱

下駄箱で上靴やスリッパに履き替えて教室に入ることができます。上靴などはご自身のものを下駄箱で保管可能です。



教室

メインで使用する教室です。1台または2台の電子黒板を使用して授業を行います。電子黒板上での書き込みや消去がスムーズであるため、授業時間内に多くの内容を伝えることができ、授業効率がUPします。



(左)事務カウンター(右)教室

事務スタッフが常駐しています。事務スタッフの中には、北大医学科を卒業した息子を持つ母や、北大の卒業生、看護師や放射線技師の資格を持つスタッフもいます。

2024年 合格体験記

札幌医大（医一医）合格

相澤祐花さん（札幌日本大学高等学校）

私は英語をもっと強くしたいと思い、読解の講座を受講しました。第1回全統記述模試(5月実施)では、英語の偏差値が72だったのが、第2回全統記述模試(8月実施)では得点が200点満点中180点で偏差値が75、第3回全統記述模試(10月実施)では偏差値を78まで伸ばすことが出来ました。

品野先生の授業のテキストは、過去に先生が読んだ小説などから抜粋している文章で、品詞や構造を適切に把握していないと和訳が出来ない文章が多いです。そこで先生の「前から訳す」を実践してみることで、意味を崩さずに綺麗な日本語に直すことができるようになりました。それで、模試などでのお行儀のよい文章の和訳が怖くなり、時間も20分以上余るようになりました。

また、授業以外で私は品野先生監修の英作文500題を4月から7月で取り組みました。もちろん、先生から添削されたものは赤ばかりでした。しかし、英訳での意識の程度・使う構文などで先生から指導を受けたことで、以降は自分が扱いきれる文法の範囲で気をつけて書くようになりました。おかげで本番の試験でも、英作は大きなミスはしていないだろうという感触で終えることができました。

品野先生がいなければ、英語をここまで伸ばすことも、英語を得意科目のひとつだと自信を持って言えることもなかったと思います。1年間楽しく英語を勉強することができました。本当にありがとうございました。

旭川医科大学(医一医)合格

匿名さん（札幌北高校）

全教科を受講していたため、塾の授業日が週に4日ありました。学校の授業の勉強の他に、塾の授業の予習・復習を全てこなすには勉強時間を大幅に増やさなければならませんでした。私は、1・2年生の時にあまり勉強をしていなかったため、学校と塾の両立は大変でした。ですが、やらなければならないことはどれも妥協をせずにできるだけやりたいと思いやっていたうちに、自然に勉強時間が増え、ギリギリではありますが、ほとんどをこなせるようになりました。

英語は、学校なら1年生でやるような文法の基本的なところから教えていただけました。英語が苦手で、文法力に不安があった私にとってはとても助かる授業でした。予習・復習の量がとても多く、他の教科よりも時間がかかり大変でしたが、予習・復習を通して文法力を高めることができたと思います。

数学は、解法のパターンや問題を解く際に気をつけるべきことを何度も教えてくださったおかげで、自分で問題を解いていて、行き詰まった時に非常に役立ちました。

物理は、基本の基本のところから説明していただけたので、苦手な単元の問題でも授業を理解しやすかったです。

化学は、豆知識をたくさん教えていただけたおかげで、覚えるのに苦労していた暗記事項も豆知識と関連づけることで覚えることができました。

国語は、読み方や、チェックポイントなど、基本的なことから教えていただけました。そのおかげで、文章を全く読めず問題にも手が出せない状態から、徐々に改善することができました。

また、学校の行事や、講習の予定に合わせて授業の振替に柔軟に対応していただけたおかげで学校と塾を両立することができました。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

マイ・フィロソフィー

受験時代は
誰のものでもない
自分自身のたった一度の
生をみつめ
未来を実現するために得た
貴重な時間だ
自らの計画にしたがって
克己の精神と
勇気をもって
自分自身の生涯をつらぬく
熱いものを
精一杯追いたまえ



講師全員現役医学部医学科生の
個別指導も展開中！

北大・医大進学塾

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目4-10

TEL/FAX 011-613-2724

<http://www.igaku-mps.com>



HP



塾長ブログ